

# CASBEE<sup>®</sup>新潟 | 評価結果 |



■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2008年版  
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.3)

## 1. 建物概要

建物名称	北越銀行新潟東支店	
建設地	中央区 南笹口1丁目655-1他	
用途地域	近隣商業地域、準防	
建物用途	事務所	
竣工年	2014年8月 予定	
敷地面積	4,667.22 m <sup>2</sup>	
建築面積	1,502.12 m <sup>2</sup>	
延床面積	3,479.86 m <sup>2</sup>	
階数	地上3F	
構造	RC造	
評価の段階	基本設計段階評価	
評価の実施日	2013年8月20日	

## 2. CASBEE新潟の評価結果

	A	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{59}{37} = 1.5$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★		

## 3. 新潟市の重点項目の評価

重点項目	平均スコア	評価	項目	スコア
1. 長寿命化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために	3.8		バリアフリー	4.0
			維持管理	4.5
			更新性	3.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産、思い出を守るために	3.6		耐震・免震	3.8
			信頼性	3.4
3. 大雨への取組み 大雨につよいまちづくりのために	3.0		雨水排水負荷低減	3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	3.3		建物の熱負荷抑制	3.0
			自然エネルギー利用	3.5
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	4.3		節水	4.0
			リサイクル材の使用	5.0
			再利用可能性向上	4.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために	2.0		生物環境の保全・創出	1.0
			敷地内温熱環境の向上	3.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために	3.5		まちなみ・景観への配慮	4.0
			地域性への配慮、快適性の向上	3.0

## 4. 新潟市の重点項目の配慮事項

- 内外装に耐久性とメンテナンス性に優れた材料を選定し、長寿命化に配慮している。
- 耐震安全性の目標として、構造体の分類をⅡ類とし、重要度係数を1.25としている。
- 1階床レベルを接道部より約40cm高く計画し、大雨による浸水に配慮している。出入り口には防潮板を設置し、信濃川の水増水による浸水に配慮している。
- 2、3階の執務室に自然換気窓を設置、EVホールに定風量逆流防止換気スリットを設置している。
- 節水型の衛生器具を採用している。また、リサイクル材として場所打ちコンクリート杭に高炉セメントを使用、外構舗装材に等リサイクル材を使用している。
- 空地率を67.8%とし、敷地内に風の通り道を確保している。
- 古くから地域に根差す歩行者空間をイメージした雁木ピロティを北、西側に設けることで、まちなみ及び歩行者に配慮している。

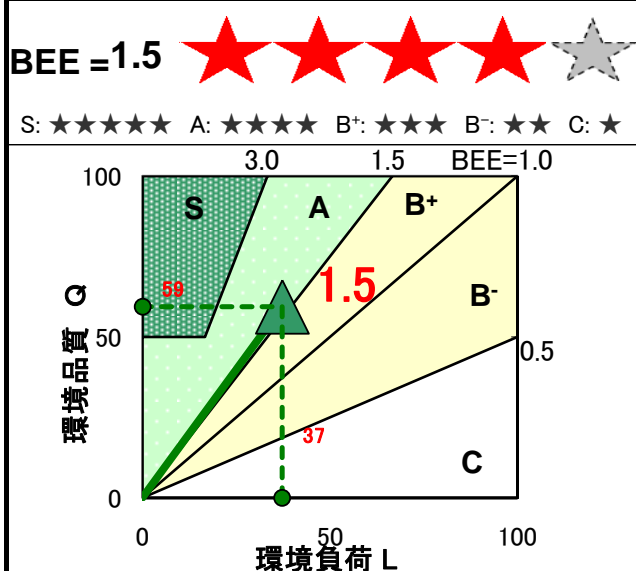
■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

# CASBEE® 新潟

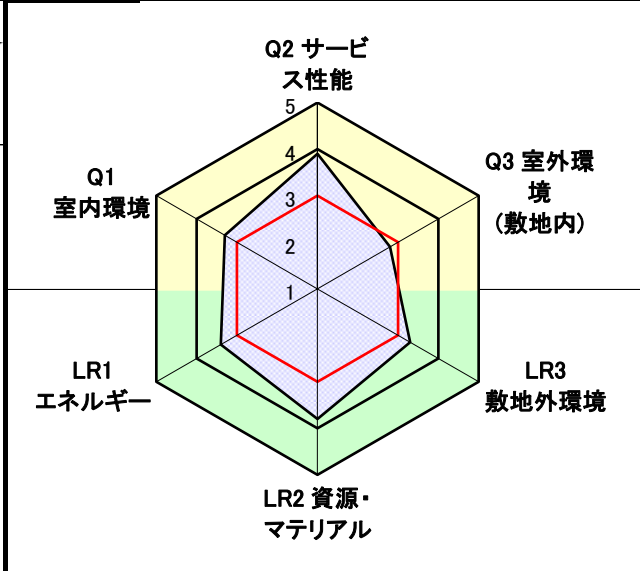
# 評価結果内訳

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2008年版 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.3)

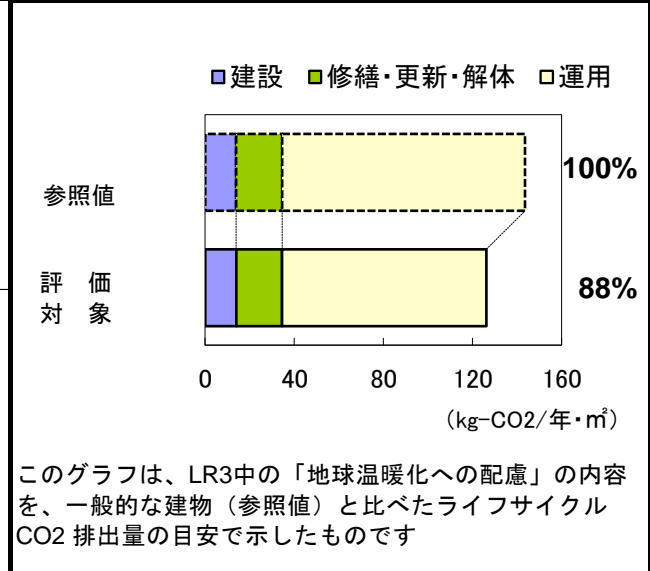
## 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)



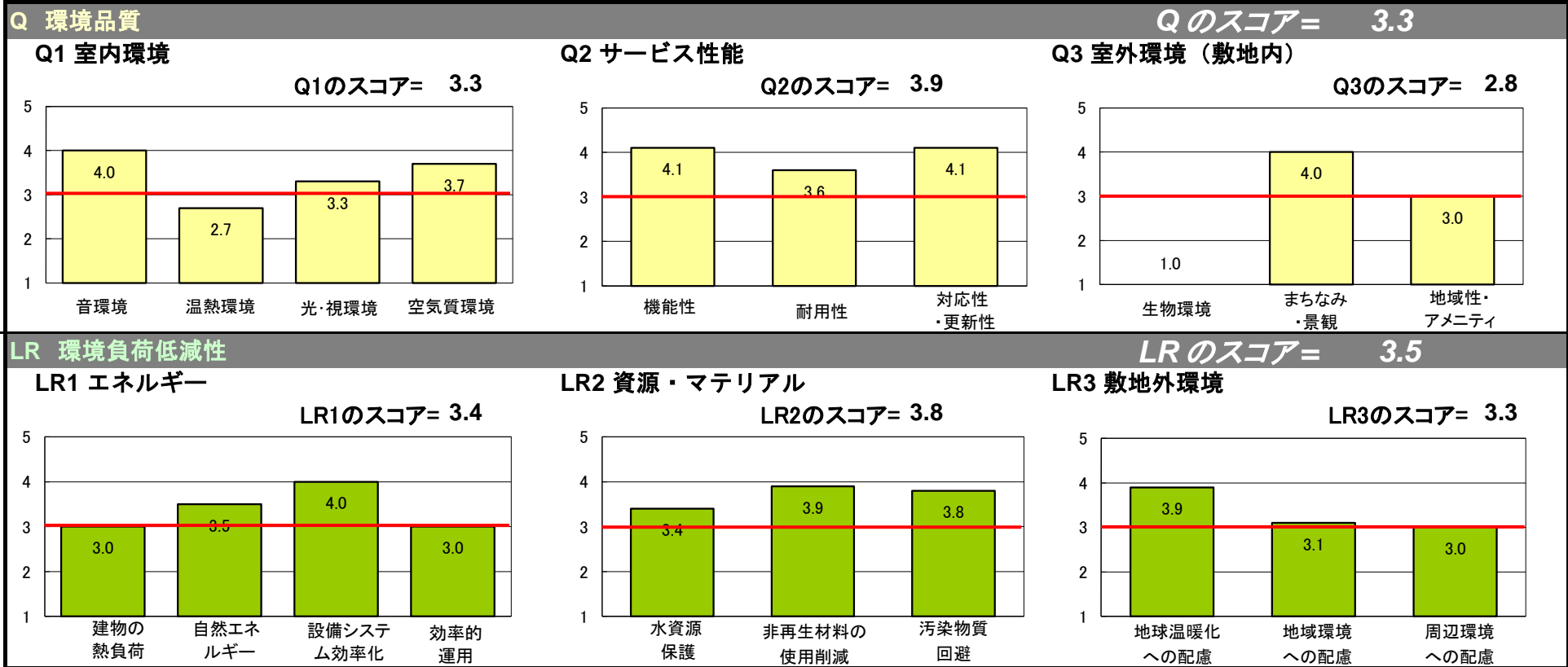
## 2-2 大項目の評価 (レーダーチャート)



## 2-3 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)



## 2-4 中項目の評価 (バーチャート)



## 2-5 設計上の配慮事項

<p><b>総合</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>内外装に耐久性とメンテナンス性に優れた材料を選定し、長寿命化に配慮している。</li> <li>耐震安全性の目標として、構造体の分類をⅡ類とし、重要度係数を1.25としている。</li> <li>1階床レベルの設定等により、大雨による浸水に配慮している。出入り口には膨張板を設置し、信濃川の増水による浸水に配慮している。</li> </ul>	<p><b>その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>出入り口には膨張板を設置し、信濃川の増水による浸水に配慮している。</li> </ul>
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>床・壁・天井に吸音材を用いている。</li> <li>3階の執務室の昼光率を3.2%としている。</li> <li>F☆☆☆☆を全面的に採用している。</li> <li>建物内を全館禁煙としている。</li> </ul>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>執務空間の天井高さを2.8mとし、適切に窓を設置している。</li> <li>2階に自販機コーナー、テラスを計画している。</li> <li>内外装にメンテナンス性に配慮した建材を使用している。</li> </ul>
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>執務室・2階EVホール等に自然換気システムを計画している。</li> <li>ERR=15.9としている。</li> </ul>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>プレストレストコンクリート梁、ハーフPC床板を採用している。</li> <li>場所打ちコンクリート杭に高炉セメントを使用している。</li> <li>舗装材等にリサイクル材を使用している。</li> </ul>
	<p><b>Q3 室外環境 (敷地内)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1階に雁木ピロティを計画し、景観に配慮している。</li> <li>2階にテラスを計画し、快適性の向上に配慮している。</li> </ul>
	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ライフサイクルCO<sub>2</sub>排出率に基づく換算スコアを3.9としている。</li> <li>車を利用した来客に配慮し、前面道路から駐車場が認識しやすい配置としている。</li> <li>外部照明はタイムスケジュール+自動点滅機による点</li> </ul>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される